

# Weekly Report

2015～2016年度



平成28年2月9日(火)

第1799回例会

- 会長 鴨志田 敏彦
- 幹事 赤本 昌広
- 会報 中村 和広

作者の言葉

我が川崎百合丘ロータリークラブの2015～2016年度の例会は、地味には有り様だが、この多岐にわたるテーマに、見るべき点がある。知る化の深さにより、地味さから、少しづつ、その奥深さを、感じ取ることが出来る。その奥深さを、感じ取ることが出来る。その奥深さを、感じ取ることが出来る。

鴨志田 敏彦

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第1799回例会記録 平成28年2月9日(火) 28/46回

国際ロータリー第2590地区 第1・第2・第3グループ  
 2015～16年度 INTER-CITY MEETING

2016年2月9日(火)

テーマ：生かされる命の大切さ

これでよいのかロータリー

会場：川崎市総合福祉センター エポックなかはら3F

国際ロータリー第2590地区：

第1グループガバナー補佐 小林 和雄

第2グループガバナー補佐 小泉 正博

第3グループガバナー補佐 鈴木 克明

ホストクラブ：川崎宮前RC

会長 増田 真路

IM実行委員長 山家 茂夫

### 本日のプログラム

#### <INTER-CITY MEETING>

本年度(2015～16年度)のIM開催ホストクラブの指名を受けて、その実施に向け第1・2・3グループのガバナー補佐を交えた実行委員会で意見を重ねてまいりました。

そのなか、現代社会はストレス社会とも言われるように、多くの人々が時間に追われ、心にゆとりのある生活をする事ができない状況のうえ、社会・職場・家庭などからいろいろなストレスを感じる日々を送っています。ストレスは病気の元凶とも言われ身体の健康を壊すだけでなく心の健康バランスを崩し神経の病に侵され、現実から逃避し最後はかけがえのない命を自ら捨ててしまう悲しい出来事が毎年3万人近くいる状況です。

そこで「自殺大国」の汚名返上に向け長年にわたり自殺予防活動にご尽力いただいている帝京大学医学部附属溝口病院 精神神経科教授 張賢徳先生に、心の病への理解と自殺に至らない予防、そして“生かされる命の大切さ”についてお話いただきます。

第二部は、箕田ガバナーが掲げる、地区方針1番目の教育研修の実施をふまえ、今後ロータリーは何処へ行くのか、次世代の担い手となるロータリアンの教育をどう行い未来はどうなるのか、いまさら聞

#### <出席委員会>

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1799回	42	42			100%
第1798回	42	30	12		71.43%

#### <ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	0件	0円	772件	844,612円
財団	0件	0円	13件	186,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	120,000円
米山	0件	0円	25件	350,000円

- 第1801回 2月23日 会員卓話④
- 第1802回 3月1日 クラブ協議会⑥
- 第1803回 3月8日 会員卓話⑤

けないロータリーの基本をロータリアン自身で考え、各クラブで研修するヒントになればとの思いで「これでよいのかロータリー」の題で川崎西RC三間悌司様に講演いただきます。

また、勉強会終了後の懇談会は近隣ロータリアンの親睦をはかる絶好の機会でありIMの目的の一つでもあります。ロータリアン同士が親交を深め楽しいひと時をお過ごしいただきロータリーの輪をさらに広げていけたら幸いです。

### ～プログラム～

■登録受付

■開会式

■講演

「生かされる命の大切さ」

帝京大学医学部附属溝口病院  
精神神経科教授 張賢徳様

「これでよいのかロータリー」

川崎西RC三間悌司様

■閉会式

■懇親会



国際ロータリー第2590地区 第1・第2・第3グループ  
**INTER-CITY MEETING**

—— テーマ ——  
●生かされる命の大切さ  
●これでよいのかロータリー



世界へのプレゼントになろう

日 時 2016年2月9日(火)  
登 録 14:00  
会 場 川崎市総合福祉センター エポックなかはら 3F

ホストクラブ 川崎宮前ロータリークラブ

## INTER-CITY MEETING

本年度(2015-16年度)のIM開催ホストクラブの指名を受けて、その実施に向け第1・2・3グループのガバナー補佐を交えた実行委員会が意見を重ねてまいりました。

そのなか、現代社会はストレス社会とも言われるように、多くの人が時間に追われ、心にゆとりのある生活を送ることができない状況のうえ、社会・職場・家庭などからいろいろなストレスを感じる日々を送っています。ストレスは病気の元凶とも言われ身体の健康を壊すだけでなく心の健康バランスを崩し神経の病に侵され、現実から逃避し最後はかけがえのない命を自ら捨ててしまう悲しい出来事が毎年3万人近くいる状況です。

そこで、「自殺大国」の汚名返上に向け長年にわたる自発予防活動にご尽力いただいている帝京大学医学部附属溝口病院 精神神経科教授 張賢徳先生に、心の病への理解と自殺に至らない予防、そして「生かされる命の大切さ」についてお話いただきます。

第二部は、箕田ガバナーが掲げる、地区方針1番目の教育研修の実施をふまえ、今後ロータリーは何処へ行くのか、次世代の担い手となるロータリアンの教育をどう行い未来はどうなるのか、いまさら聞けないロータリーの基本をロータリアン自身で考え、各クラブで研修するヒントになればとの思いで「これでよいのかロータリー」の題で川崎西RC 三間悌司様に講演いただきます。

また、勉強会終了後の懇談会は近隣ロータリアンの親睦をはかる絶好の機会でありIMの目的の一つでもあります。ロータリアン同士が親交を深め楽しいひと時をお過ごしいただきロータリーの輪をさらに広げていけたら幸いです。

### 国際ロータリー第2590地区

第1グループガバナー補佐 小林 和雄  
第2グループガバナー補佐 小泉 正博  
第3グループガバナー補佐 鈴木 克明

### ホストクラブ

川崎宮前ロータリークラブ  
会 長 増田 真路  
IM実行委員長 山家 茂夫

### プログラム

登録受付 (14:00～)

開 会 式 (14:30～)

講 演 (15:15～) 「生かされる命の大切さ」  
帝京大学医学部附属溝口病院 精神神経科教授 張 賢徳様

(16:50～) 「これでよいのかロータリー」  
川崎西ロータリークラブ 三間 悌司様

閉 会 式 (17:15～)

懇 親 会 (18:00～)

※内容等が変更になる場合があります。

### プロフィール



ちょう よしのり  
**張 賢徳様**  
帝京大学医学部附属溝口病院  
精神神経科教授

1991年東京大学医学部卒業後、帝京大学医学部精神神経科学教室に入局。1997年ケンブリッジ大学精神医学博士号取得。帝京大学市原病院精神科講師を経て1999年に同大学溝口病院精神科科長となり2008年から同科長・教授。専門は臨床精神医学と自殺学で社会心理学や宗教学にも関心を寄せている。主著は「人はなぜ自殺するのか」(勉誠出版)、「うつ病新時代—その理解とトータルケアのために」(平凡社新書)、「うつ病診療の論理と倫理」(共著、学樹書院)。



あま ていじ  
**三間 悌司様**  
川崎西ロータリークラブ

《略歴》  
生年月日 昭和17年6月13日生  
最終学歴 慶応義塾大学経済学部卒業  
職 業 静雅書道会 理事長  
職業分類 書道

### 《ロータリー歴》

1984.6.22 入会	2006～2007 地区副幹事
1986～1987 SAA	2007～2008 地区職業奉仕委員会委員長
1992～1993 副会長	2008～2009 第3グループ ガバナー補佐
1995～1996 地区副幹事	2009～2010 地区クラブ奉仕委員会副委員長
1996～1997 地区拡大増強委員会委員	2010～2011 地区R情報・広報・IT委員会副委員長
1997～1998 地区職業奉仕委員会委員	2011～2012 地区拡大・増強委員会副委員長
1998～1999 地区ローターアクト委員会委員	2012～2013 地区拡大・増強委員会委員長
2000～2001 地区R情報・広報委員会委員	
2002～2003 クラブ幹事	* マルチプル・ボーンハリス・フェロー
2004～2005 クラブ会長	* ベネファクター
	* 米山功労者